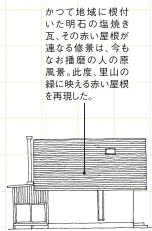




赤い窯変瓦が里山の緑に映える、登り窯のような佇まいの家。その下で、おらかなで穏やかな営みが育まれることを願った、大きな屋根を伏せた平屋づくりの住まいです。土間、薪ストーヴ、囲炉裏、嬉しい設えと様々な居場所づくり。建築は、多くの職方の手の集大成。腕によりをかけて、里山暮らしを愉しめる仕掛けをたくさん設けました。

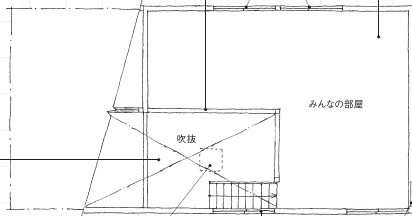
五感をくすぐる、5つのステージを持つ平屋。自然の恵みと共存する里山の杜。

赤い窯変瓦が里山の緑に映える、登り窯のような佇まいの家。その下で、おらかなで穏やかな営みが育まれることを願った、大きな屋根を伏せた平屋づくりの住まいです。土間、薪ストーヴ、囲炉裏、嬉しい設えと様々な居場所づくり。建築は、多くの職方の手の集大成。腕によりをかけて、里山暮らしを愉しめる仕掛けをたくさん設けました。



かつて地域に根付いた明石の塩焼き瓦。その赤い屋根が遠なる旅人は、今もなお播磨の人の歴史風景。此度、里山の緑に映える赤い屋根を再現した。

ホールには扉を切った、囲炉裏を設えることのできる吹抜け。現代民家の粋。

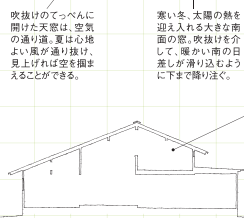


たとえば、吹抜けに面して障子をはさみ、二階だけの落ち着いた空間に。

二階は壁のない大きな空間。貫状の一部屋で使ったり、仕切らない。種々に使える。兵衛の杉が建ち、実感できる無垢の木の架構もご覧あれ。

遠るものなく里山を一望できる北側の窓は、断熱ガラスに加えて、窓は断熱スクリューを下ろすことで冬の室温を保つ。

2F



吹抜けのつべんに開けた天窗は、空気の通り道。夏は心地よい風が通り抜け、見上げれば空を掴まえることができる。

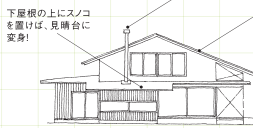
暑い冬、太陽の熱を溜め入れる大きな前面の窓。吹抜けを介して、暖かい雨の日差しが滑り込むように下まで降り注ぐ。

大屋根を支える梁をあらわにした勾配天井。力強くも小気味よい魅せる木組は、安心と懐かしさを住む人の心に届けてくれる。

立面④ S = 1/300

断面④

縁側から、地元丹波立杭機の水張へつづく雨の音も見て味わって。



大屋根の下、煙突の元、火のある暮らしを愉しむ。

覆斜に尽かした梁路を下ろした、登り窯のような佇まい。赤い切妻のスカラインは、わが家の目印。

下屋根の上にもスノコを置けば、見晴台に変身!

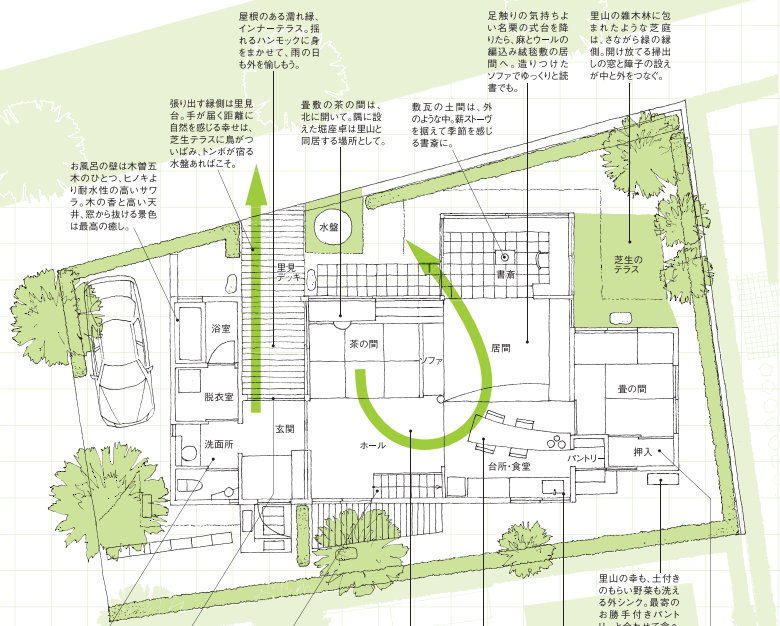
縁側から、地元丹波立杭機の水張へつづく雨の音も見て味わって。

北



北風と太陽と里山が同居人

大塚工務店



屋根のある濡れ縁。インターアラス、揺れるハンモックに身をまかせて、雨の日も外を愉しむ。

振り出す縁側は里見台。手が届く距離に、芝生テラスに高がつかい、トンボが宿る水盤あればこそ。

お風呂の壁は木曾五木のひとつ、ヒノキより耐水性の高いリワラ。木の香と高い天井、窓から抜ける景色は最高の癒し。

畳敷の茶の間は、北に開いて、隣に設えた庭座卓は里山と同居する場所として。

敷瓦の土間は、外のような中、靴スリッパを履いて季節を感じる書斎に。

足整りの気持ちよい各業の武倉を降りたら、麻とワールの羅織み絨毯敷の居間へ。通りつづけたソファでゆっくりと読書でも。

里山の雑木林に包まれたような空間は、さながら緑の縁側。開け放てる掃出の窓と障子の設えが中と外をつなぐ。

1F

水廻りの床には玄関から張り込んだ大谷石。彩のように優しく、冷たない多孔隙な石。洗面所は脱衣室と分けることでパブリックな部屋にもなる。

玄関には、どんな絵画よりも奥深い、折々の季節色のピクチャアワード。うちには障子。いつもいつでも里山のみどりが見えつづける。

吉民業を思わせる家具のような箱階段は、その名の通り収納も施せる。

八角に抱いたグライの丸黒柱を中心に、田の字型に居室を結んで、ひとつらなりの間をつくり出した。緩やかな段差を、礎を置けるステージに見立て、気の向くままに、らせんを描くように下りれば、里山と同じ空気を吸える贅沢。

あえて狭いコナラの床板を挑った食堂のカウンターシンクの下は自由に収納の奥に。高さを抑えたコンロ間りは、調理しやすく配膳も楽々。

コンロに隣して、流しには木の天板を、板のカウンターシンクの下は自由に収納の奥に。高さを抑えたコンロ間りは、調理しやすく配膳も楽々。

里山の幸も、土付きののもい野菜も洗える外シンク。最寄のお勝手付きパントリーと合わせて食への備えを。

奥は静かな座敷。寝室として平屋暮らしを愉しむもよし、景色を望める書斎としてもよし。地窓から、揺れる木陰とそよ風を招き入れて。

小さなコーナーごとに多彩な装いづくりがたのしみです。

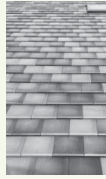
※立面・仕様及び内容は、2016/3/25 現在のものです。実際の建物とは異なる場合があります。



平面② S = 1/125



里山の社
百年後建築は緑に埋もれて、集落になる。夏は里山から吹き上げる涼のまつた卓越風を、冬はお日様の暖気を、春と秋は里山の果樹の恵みを、変わるこのない自然の力を、パッシブデザインという設計手法で丁寧に読み解き、四季に合わせた受け入れる庭を施した。「固有の植物を庭をつくり、自生する雑木を活かしながら里山を再生する」里山住宅博で数かされたコトを、こう読み解きながら、建築も地帯固有の素材を適材適所に配し、自然に感謝して毎日を通わせるように工夫した。住む愉しさを外の自然から招き入れよう！



光が生む窯変瓦の色調の変化

赤い窯変瓦を焼きあげてもらった、淡路特有の艶消し平板瓦の復刻である。
天井がない
外と内とも呼ばれる吹抜けは、外と内が出会い交わる余白。人は横に動き、光、風は縦に動く。その計算された流れの中、井戸の底からと見上げれば、あらゆる無垢の木が奏でる旋律に包まれる。上の天窓は、囲炉裏からの煙よんだ空気、夏の熱気を外部に逃がし、冬は貴重な太陽の熱を降下まで届けてくれるなど、春夏秋冬それぞれの時節に応じた働きを持つ。そんな吹抜けを横断する梁には、囲炉裏と合わせて鉄鍋を吊るすことも、プランコを吊るすことも。



風洞とも呼ばれる吹抜けの施工例

大屋根の下
明石瓦は酸化鉄を多く含み、焼くだけで赤く染まり、長持ちし、魅力的な色ムラを持つが、阪神淡路大震災の後、重い瓦は「わるもん」にされ、ついに明石では窯業がついた。明石で業をなす工務店として、瓦屋根の在り方を示すは使命！導かれた地は、対岸の淡路であった。元気が瓦産業が残る淡路の窯元で、往時を彷彿とさせる

新しい当たり前に踊らされない木の家づくり。
大正期の創業から約二世紀、四代目が工務店の地力をしめす。

大塚工務店さんの家づくりとは？

暮らしの設えについての優先順位は、まさに住人十色です。国の求める性能は担保しながら、住む人の想いに心を寄せ、暮らし向き合い、暮らし方を提案するの住宅建築の本質ではないでしょうか。であるからには、あたりまえを見つめながら、流行りすたいで変わらな、本質的なものを提案しなければなりません。

たとえばそれは、「陽と風」。パッシブデザインを駆使して、気候や風土にあった、外部環境をはね返さない、軒の深い佇まいを追究しています。お陽さんの力、風の力といった変わることない自然の力と共存する木の家づくりです。



素材に関しては、「工業製品」として完成し、机上でカタログから選ぶものはあまり頼りになりません。愛着をもてる素材を住む人と並走して見つけること。どこかで聞きかじりしてき



大好きな木に囲まれて柔らかい笑顔の大塚代表

た偏見にくすぐりを入れて、はぐしてご自身で判断できるきっかけをつくること。住む人声に耳を傾け、すぐにひらけて提案できる「素材とそれを活かした設えの風呂敷と引出しは、全国産の産地を奔走して、日々満タンにしています。」「近くの山の木で家を建てる」として、エコロジー環境負荷の低減とエコノミー（経済性）のかたつたエコの享受を提唱しています。人工林の多い我が国において、薪ストーブも含め、木を使うことは大変エコロジーです。エコノミー面では、地元兵庫県と金融機関が協力して融資する「兵庫県の木造住宅ローン」

をご紹介しています。県産木材を多く使うことで、超低金利の長期固定金利融資制度を利用できる、兵庫県民の実は！の特権です。地元産の良質な素材を中心に、日本各地の良材を適材適所に活用した「兵庫の杉普請の家」に自信を持っているからこそ、無垢の木を利用した在来工法でありながら、全棟構造計算を行い、耐震等級を示しています。

来場者にメッセージを。
求めれば、内に居ながらにして外を感じることのできる設えが、私たちのつくる木の家には備わっています。太陽や風を、時に受け入

れ、受け流し、寄り添う暮らしを目指すべきです。「木の家の住まい手は、住み暮らしながら、四季を愉しむために施された設えを、自らに馴染ませていく。あらゆるの無垢の木の架構、板や土や紙や、素材がそれに応える。洗濯すること、体に馴染む衣服のように、家が体に馴染んでくる。家が好きになる。子どもたちもお父さんお母さんと一緒に、家が好きになる。季節を肌で感じながら、心地よい方向へ、ありのままに使いこなしていく」

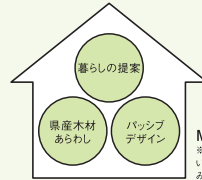
私たちがイメージする住まい手像です。



創設大正十三年
大塚工務店
会社名
株式会社大塚工務店
所在地
〒673-0885
兵庫県明石市桜町2-22
電話 078-911-8537 FAX 078-911-8588
ウェブサイト
http://www.d2.dion.ne.jp/~ootsu/
代表取締役
大塚 伸二郎

敷地面積	192.37㎡ (58.19坪)
建築面積	77.84㎡ (23.54坪)
床面積	1階床面積 72.87㎡ (インナーデッキは含みません)
	2階床面積 31.46㎡
	延床面積 104.33㎡ (31.55坪)
構造	木造軸組工法
構造躯体	兵庫県産栗産 無垢のヒノキとスギ あらわし架構
主な外部仕上げ	屋根 粘土瓦葺 (淡路平板窯変瓦)・ガルバリウム鋼板瓦葺業
	外壁 左官シラス土塗仕上げ、スギ焼板張り
主な内部仕上げ	天井 鳥取県産スギ3層パネルあらわし、土佐和紙張り
	床 左官土塗壁、土佐和紙張り、岐阜県産サワラ板張り
	床 兵庫県産スギ板張り、コナラ板張り、麻とワールの絨毯張り、畳敷 (熊本産天然イ草巻)、大谷石張り、淡路製瓦張り
断熱材	屋根 A種フェノールフォーム保温板1種2号
	外壁 ポリエステル繊維断熱材
主な窓	基礎 A種押出ポリスチレンフォーム保温板3種b
	種類 木製サッシ、アルミ樹脂複合サッシ
その他の仕様	認定長期優良住宅、薪ストーブ、八角大黒柱、ハニカムサーモスクリーン

※詳細仕様
スーパーラジエントヒーター、ハードディスク、オーバーヘッドドット、外シंक、地元産立杭杭機、洗面、手洗ボウルと水栓



Matching Icon
※「こんなこと」を重視しているお客様は、ぜひ来てみてねという指標です。



屋根を写し取ったような勾配天井